

日本グランプリシリーズ グレード 1 第 10 回木南道孝記念陸上競技大会

【出場結果】

実施日 : 5月7日(日) 1500m
会場 : 大阪・ヤンマースタジアム長居
出場者 : 小林 航央
出場種目・出場者・リザルト

氏名	小林
種目	1500m
タイム	3'52"30
順位	13/15位

【レポート】

6月に行われる日本選手権出場を控える小林が、本番への前哨戦の位置づけとして、日本選手権と同じ会場となる大阪・ヤンマースタジアム長居で行われた木南道孝記念陸上競技大会のグランプリレース 1500m に出場しました。

3月まではハーフマラソンを主体としてトレーニングを積んできた関係もあり、トラックでの中距離的なスピードの強化が例年と比べ遅く、どれだけ走れるか未知数なところはありませんでしたが、昨年度のベスト記録を破る3分43秒切りを目標としてレースに臨みました。



集中力を高めてスタートを待つ小林

ShinDengen /

グランプリレースに出場する多くの選手達は、4月から全国各地で行われたグランプリレースを転戦して、日本選手権にピーキングを合わせていきますが、小林は今年度初となる1500mのレースとなり、レース感を取り戻しながら勝負出来るかがカギとなります。

レースがスタートすると、ペースメーカーの選手が400mを56秒のハイペースで通過する中、小林も58秒台で通過し勢いのある走りを見せてくれましたが、800m以降は集団の最後尾まで下がり、ラスト300mで前方から落ちてきた選手を追い抜きましたが、中盤の落ち込みが最後まで響き3分52秒30でのゴールとなりました。



序盤は勢いのある走りを見せた小林



中盤以降は苦しい走りとなった小林



前方から落ちてきた選手を抜き去るも悔しい結果となった小林

【総 評】

日本選手権を1ヶ月後に控え、今回のレースでは3分43秒切りを目標にレースに臨みましたが、結果として目標を大幅に下回る結果となりました。

トラックレースへのシーズンインが遅れたことが一因として挙げられますが、遅れを取り戻すために短期間でコンディションを仕上げたものの、日本のトップレベルの選手達と競うには、現時点では心身ともに準備不足であることが明確となりました。

今回のレースで課題は明確となりましたので、日本選手権本番まで残り1ヶ月のトレーニングで、出来る限りのことをして納得した形で本番のレースに臨んでもらいたいと思います。

今回は悔しい思いをしたかもしれませんが、課題を克服できた時の充実感に勝るものはありませんので、日本選手権本番で予選を通過して、決勝の舞台で戦う小林の姿が見られることを期待したいと思います。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上